

2017 年度「岩木健康増進プロジェクト弘前市岩木地区小中学生に おける健康調査」健診にご参加いただいた皆様へ

下記の研究に用いるため、皆様の情報を利用させていただきますので、お知らせいたします。

研究課題名： 小中学生における平衡機能の推移・岩木健康増進プロジェクトにおける検討

研究の目的

平衡機能は小児期から成人期にかけて発達し、その後加齢と共に低下することが報告されています。これまでに小児の平衡機能に関する報告はあるものの、岩木健康増進プロジェクト弘前市岩木地区小中学生における健康調査で得られるような多くのデータを使用し、総合的に検討したものはありません。今回、小中学生健康調査のデータを用いて小中学生における平衡機能に關与する因子について検討します。小児期における平衡機能に影響を与える因子を同定することは、将来的な平衡機能の低下を予防できる一助につながることを期待されます。

研究実施期間： 実施許可日 ～ 2025 年 3 月 31 日

対象となる方： 2017 年度の岩木健康増進プロジェクト健診に参加された方

利用させていただきたい試料・情報について

以下の情報を研究責任者である後藤 真一の責任の下、標記研究課題実施のために弘前大学内で利用します。

先行研究「平成 29 年度岩木健康増進プロジェクト 弘前市岩木地区小中学生における健康調査」において 2017 年度に取得された以下のデータ。

【調査項目】

- ・個人記録表、体組成、四肢血圧、呼吸機能、骨密度、アンケート、体力評価、BDHQ（栄養素接種食品摂取量）
- ・BDHQ（粗データ、主要栄養素の食品群別摂取量、個人結果帳票に表示する結果、同じ性・年齢階級の平均摂取）
- ・重心動揺（開眼、閉眼、ロンベルグ率）
- ・整形外科評価（体幹筋力、下肢筋力、膝痛・腰痛評価）
- ・内臓脂肪
- ・血液検査（津軽中学校対象者のみ）
総コレステロール、HDL-Cho、TG、LDL コレステロール、レプチン

具体的には、以下の方法により解析します。

母集団：2017 年度岩木健康増進プロジェクト小中学生健康調査に参加した小学 5 年～中学 3 年の方を対象とします。

解析：年齢、身長、体脂肪率、運動習慣、開眼総軌跡長、閉眼総軌跡長、脚伸展筋力、腹筋、背筋、採血結果についての男女差を解析します。また、各測定項目が総軌跡長に及ぼす影響について単回帰分析および重回帰分析、ロジスティック回帰分析を用いて男女別に検討する予定です。

なお、本研究で利用する情報は、先行研究「平成 29 年度岩木健康増進プロジェクト 弘前市岩木地区小中学生における健康調査(整理番号:2017-068)」で収集し、加工（氏名、住所および生年月日と切り離し、照合のための符号・番号を付与）され、岩木データベースに登録された情報です。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。そのため、本研究により個人に還元する臨床的意義のある結果は得られないため、個別の結果については原則としてお答えできません。

研究への利用に同意いただけない場合には、「**情報利用提供停止願**い」をご提出ください。受領後、その方の試料・情報を対象から除外します。ただし、ご連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない方／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

本件連絡先	弘前大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座 助教・後藤 真一 住所：〒036-8562 弘前市在府町 5 電話：（外線）0172-39-5099（内線）4771 Email：goto-s@hirosaki-u.ac.jp
情報利用停止願送付先	弘前大学大学院医学研究科附属健康・医療データサイエンス 研究センター 医療データ解析学講座 教授 玉田 嘉紀 住所 〒036-8562 弘前市在府町 5 電話：0172-39-5037(代表) FAX：0172-39-5205